



ごあいさつ

3月議会では、三反園知事となって、初めての当初予算が示されました。私は、予算の一つひとつについて、県民の暮らしにとってプラスになるのか、マイナスになるのかをチェックするとともに、県民のいのちや暮らしを守る立場での提案を含めて、一般質問を行いました。

その3月議会についてお知らせいたします。ぜひ、ご意見やご要望をお寄せください。



2017年度 一般会計予算 8,099億6,900万円

評価する点は

- 「乳幼児医療費助成在り方有識者懇談会」の開催費用を計上
- 離島の子どものための大会参加費の助成費用を計上
- 離島の住民を対象とした、船賃・飛行機代の引き下げの実施など

問題点を指摘し、予算案に反対

問題1 不要不急の大型公共事業で税金のムダ使い

三反園知事は、施政方針演説のなかで、一層の行財政改革を進める必要性を述べました。その理由を問うまつざき県議の質問に対して、過去において、国の経済政策への対応を含め、公共事業等に多額の予算を計上してきたことがその原因との認識が示されました。たとえば、豪華な県庁舎や県民交流センター、廃館となったなのはな館、人工島に川辺ダムなど、不要不急の公共事業が借金を頼りに進められてきました。その結果、予算の16.1%が借金返済になっています。

これは、現在も続いています。国の海峡横断プロジェクトの6長大橋のうちの島原・天草・長島架橋は、国の調査が中止になっているにもかかわらず、県は、20年以上も調査事業を続け、建設促進事業を進めています。また、今回、志布志港について、国際バルク戦略港湾としてこれから5年間、106億円をかけて、港の整備が行われることになりました。県は「この整備によって、海外からの穀物の輸送の効率化が図られ、県内の畜産農家に安価な飼料が供給されることになる」と説明しますが、まつざき県議は「これだけの公費を費やして、5年も6年も先の港湾整備を待つよりも、今すぐにも、農家の飼料購入への手厚い助成を行うことの方が、ずっと今ある農家を守っていくことになる」と主張しました。

問題2 必要な医療・介護が受けられなくなる

国の方針のもと、国保の県単位化にむけた事業や「医療介護総合確保推進法」や「地域医療構想」に基づいて、これらを具体的に進める事業費が計上されています。これらは、入院ベッドの削減や介護抑制を本格化させ、保険料や利用料の負担を増大させ、病院から施設へ、施設から在宅へと流れを作り出すものとなり、県民が必要な医療、介護を受けられなくなってしまうこととなります。

問題3 同和関連の事業費を計上

部落解放同盟県連合会への事業費補助2363万円や隣保館への運営費補助2916万円。部落解放同盟の理論と運動を基本にした研修会への旅費支給など、「人権・同和」という名で、依然として、部落解放同盟への補助金や教育、啓発活動への特別扱いが続いています。

議長・副議長選挙が行われました

議長選挙	柴立 鉄彦…50票
	まつざき真琴…1票
副議長選挙	前原 尉…48票
	まつざき真琴…3票

●2017年度
まつざき県議は 文教警察委員会に所属します。他に、災害対策協議会、桜島火山対策協議会の委員をつとめます。

●議案等に対する各党派等の態度

議案	共産党	自民党	県民連合	公明党	無所属				採決結果
					A	B	C	D	
○賛成・採択、×反対・不採択、△継続									
2017年度県一般会計予算	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
番号法(マイナンバー制度)改正による条例改正の議案	×	○	○	○	○	○	○	○	可決
原子力災害時避難計画と体制の改善を求める陳情書	○	×	○	×	○	×	△	×	不採択
免震重要棟の建設を求める陳情書	○	×	○	×	○	×	×	×	不採択
鹿児島空港運用時間延長に反対する陳情書	○	×	△	×	×	×	×	×	不採択
国の給付型奨学金制度の拡充を求める意見書採択についての陳情	○	△	○	△	△	○	△	△	継続
ひとり親家庭の医療費助成制度、重度心身障がい者医療費制度の現物給付を求める陳情書	○	△	○	△	○	○	△	△	継続
鼓川崖崩落法面箇所恒久的対策工事に関する陳情書	○	×	×	×	×	×	△	×	不採択

活動アルバム



子ども医療費の窓口負担ゼロを求める署名を三反園知事に手渡すみなさんと同行する(12月19日・県庁)



九州各県の代表とともに、オスプレイ墜落問題と九州への配備について交渉を行う(12月22日・九州防衛局)



"福島を忘れない"原発集会に参加する(3月12日・鹿児島市)



"3つの安心をつくる会"のみなさんと子ども医療費の窓口負担ゼロを要望する(11月24日・県庁)



照国神社前で新年のあいさつをする(1月1日)



3月議会で、伝統工芸産業の振興のために大島紬を着用する(2月22日・県議会)



原発事故後6年経過した福島の実況について現地調査を行う(2月4～5日・福島県)



定期点検後の再稼働に反対する県庁前の昼休み集会で発言する(12月6日・県庁前)